

# 日高軽種馬協たより

## HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和6年9月10日

# 409

第 号

## サマーセール 売却率過去最高を記録

8月19日(月)~24日(土)まで初の6日間開催で、北海道市場サマーセールが行われた。売上総額は71億3,460万円(以下、全て税込み)、平均価格は730万円、中間価格572万円、売却率は82.31%となり、売却率はサマーセールの過去最高を記録した。(比較については次頁参照)

本年も暑さの中で迎える6日間のサマーセールとなった。昨年は熱中症警戒アラートが発令され、日陰に居てもうだるような暑さから、本年はセレクションセールより、市場本館・セールリング、屋内パレードリングに冷房設備を導入し暑熱対策がはかられた。

そのようななか上場頭数は1187頭、内977頭(牡548頭・牝429頭)が取引され、購買登録者は1,639名、内オンライン登録者数は131名となった。

初日は、204頭が上場し155頭が取引され売却率は75.98%となった。この日の最高取引馬はダノンキングリー産駒の上場番号84番アルカイクスマイル2023(牡、荻伏・(有)梅田牧場)が2,530万円で取引された。他にもモーニン産駒が高評価を得ることとなり、3頭がともに1,920万円で取引された。初日の名簿上最後の上場となったドレフォン産駒のニカモレイ2023(牡、門別・(有)天羽禮治牧場)は2,420万円で取引されるなど最後まで活発なセリが続いた。

2日目は、205頭が上場し164頭が取引され売却率は80.00%となった。この日の最高取引馬はヘニーヒューズ産駒の上場番号397番ダンシングロイヤル2023(牡、新冠・村上欽哉)が3,520万円で取引された。サトノクラウン産駒の上場番号361番シェリール2023(牡、門別・モリナガファーム)が3,410万円で取引された。

3日目は、203頭が上場し169頭が取引され売却率は83.25%となった。この日の最高取引馬はダノンスマッシュ産駒の上場番号555番キリエ2023(牝、三石・(有)平野牧場)が2,750万円で取引された。

4日目は、192頭が上場し159頭が取引され売却率は82.81%となった。この日の最高取引馬はイスラボニータ産駒の上場番号665番ファッション2023(牝、えりも・(株)寺井牧場)が3,080万円で取引された。他にも2,000万円台での取引が6頭と好調だった。

5日目は、195頭が上場し164頭が取引され売却率は84.10%となった。この日の最高取引馬はダノンプレミアム産駒の上場番号1047番ダークマレイン2023(牡、浦河・(有)谷口牧場)が3,410万円で取引された。また、ホッコータルマエ産駒の上場番号981番キンショーオトヒメ(牡、浦河・多田善弘)も3,300万円と高評価を得た。

6日目の最終日は、土曜日開催となったが188頭が上場し166頭が取引され売却率は88.30%と盛況となった。最終日に本セール全体での最高取引馬が誕生。ヘニーヒューズ産駒の牝馬、上場番号1154番レディマドンナ2023(牝、静内・(有)グランド牧場)が5,280万円だった。本馬の半兄、ナチュラルライズ号は7月20日の札幌5R・2歳新馬戦(ダート1,800メートル)にて最速上がりで豪快に突き抜けての勝利。2着に6馬身差、3着にはそこからさらに大差をつける圧巻のレースを見せていた。



最高取引価格馬：レディマドンナ2023  
販売申込者：(有)グランド牧場

また、牡馬の本セール最高価格馬もヘニーヒューズ産駒で2日目に上場したダンシングロイヤル2023となった。



牡馬最高取引価格馬：ダンシングロイヤル2023  
販売申込者：村上 欽哉

他の高額取引馬について見てみると、サトノクラウン、ダノンプレミアム、ホッコータルマエ、イスラボニータなど種牡馬に偏りはなく芝・ダート傾向に関わらず高評価を得ている馬が多いように感じた。

売却の多かった種牡馬を見てみると、アメリカンペイトリオット産駒が33頭売却で最多。ベストウォーリアの産駒が31頭、ゴールドドリーム、モーニングの産駒が30頭、ホッコータルマエの産駒が27頭、カリフォルニアクローム、ルヴァンスレーヴ産駒が20頭と、ダート傾向のある種牡馬を中心に上場頭数も多かったが人気もあった。

高い売却率を誇ったサマーセールで10頭以上

上場された種牡馬の中で、100%の売却率を記録した産駒も誕生。

ダノンレジェンド産駒は上場した19頭全て売却され、エスポワールシチー産駒の上場した18頭、シャンハイボビー産駒の上場した13頭、ニューイヤーズデイ産駒の上場した10頭全て売却され100%だった。

種牡馬別の取引合計金額では、27頭売却のホッコータルマエが31,174万円で首位。30頭売却のゴールドドリームが29,865万円、同じく30頭売却のモーニングが23,001万円と続いた。

初年度産駒種牡馬別の取引合計金額では、15頭売却のクリソベリルが17,468万円で首位、ダノンプレミアムが18頭売却の17,325万円。ミスチヴィアスアレックスが22頭売却の13,156万円の順となった。

団体購買は、JRA日本中央競馬会が30頭(牡9、牝21)を総額241,230,000円で購買した。

古川組合長は「昨年ほどではないものの、暑い中でのセリとなりました。今年は空調設備を整えセリを迎えられ、大変よかったですと思います。6日間開催となり、お客様が最終日まで残るか不安もありましたが、心配していた最終日の売却率が一番良く、うれしい結果となりました。本来は5日間が望ましいところですが、1日の上場頭数を制限し、6日間開催としたことで、セリ終了時間が早くなり、販売者、購買者にとって、よかったですのではないかと思います。全体の売却率82.31%は過去最高となりました。セプテンバーセールとオータムセールも活発なご購買をお願い致します。」と振り返った。

## 【サマーセール（サラ1歳） 5年間の比較】

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
平均価格	↓ 7,302,559 ↗	7,733,474 ↗	7,332,682 ↓	6,884,860 ↗	6,935,600
中間価格	↓ 5,720,000 ↗	5,830,000 →	5,500,000 →	5,500,000 ↗	5,500,000
出場頭数	↓ 1,187 ↗	1,368 ↓	1,237 ↗	1,336 ↓	1,072
売却頭数	↓ 977 ↗	1,068 ↓	958 ↗	1,004 ↓	825
売却率	↗ 82.31% ↗	78.07% ↗	77.44% ↓	75.15% ↗	76.96%
売上総額	↓ 7,134,600,000 ↗	8,259,350,000 ↗	7,024,710,000 ↗	6,912,400,000 ↗	5,721,870,000
購買登録者数	↓ 1,639 ↗	1,657 ↗	1,523 ↓	1,376 ↗	1,454
購買実数	↓ 589 ↗	628 ↗	563 ↗	529 ↗	420

※ 単位（円、頭、名）、価格は税込、矢印は前年対比

※ 令和2年の購買登録者数はセレクションセールとの合算

## JRA 北海道シリーズ閉幕

6月8日の函館からスタートしたJRA北海道シリーズが9月1日の札幌をもって閉幕した。函館開催は6週の開催で943億8,894万円（前年比104.5%）、札幌開催は7週の開催で1,313億36万円（前年比103.3%）を売り上げ、13週合わせて2,256億8,931万円（前年比103.8%）で3年連続で前年を上回る売上となった。重賞競走は8レースが組まれ、内6レースで日高産馬が勝利したほか、2023年北海道市場セクションセール取引馬がメイクデビューを勝利するなど、次世代のスター候補もデビューを迎えた。

函館開催の開幕週6月9日におこなわれた、函館スプリントステークス（GⅢ）ではサトノレーヴ号（門別・株）白井牧場）が重賞初勝利し、勢いそのまま8月25日に札幌競馬場でおこなわれた、キーンランドカップ（GⅢ）でも勝利、北海道で重賞2連勝し秋に向け弾みをつけた。

8月18日におこなわれた札幌記念（GⅡ）では、GⅠ競走が設定されない夏開催とあって、GⅠ戦線で活躍する好メンバーが揃い、熱戦が繰り広げられた。このようななか、2019年北海道市場セクションセールの取引馬、ノースブリッジ号（新冠・村田牧場）が勝利するなど市場取引馬が開催を盛り上げた。世界の名手が集うワールドオールスタージョッキーズでは、ジョアン・モレイラ騎手が優勝し、2位には武豊騎手、3位には坂井瑠星騎手となった。

素質馬のデビュー、スーパーGⅡ札幌記念、世界の名手の腕を間近で感じられるなど、北海道シリーズには幾つもの魅力が詰まっている。来年の開催も楽しみに待ちたい。

## 門別競馬場にて「新ひだか・新冠2デイズ」が開催

令和6年8月6日(火)・7日(水)門別競馬場にて「新ひだか・新冠2デイズ」が開催された。新ひだか町、新冠町、みついし農業協同組合、しずない農業協同組合、新冠町農業協同組合、日高軽種馬農業協同組合、三石軽種馬生産振興会、静内軽種馬生産振興会、新冠町軽種馬生産振興会で構成するホッカイドウ競馬支援事業実行委員会による協賛イベントで、馬産地にあるホッカイドウ競馬を盛り上げて応援しようと2021年から行われている。

本年は来場者プレゼントとして、新ひだか町産のミニトマト（6日）、新冠町産のピーマン（7日）が各日先着160名に配布され、18時頃からポラリススタンドにて、勝馬投票券（キャッシュレス投票を含む）の購入金額2,000円を一口(上限は2万円10口)とし、新ひだか町・新冠町の特産品が当たる「ガラポン抽選会」も行われた。

また、2日間の競馬開催は新ひだか町と新冠町に関連したレース名で行われた。



先着プレゼントの新冠町産のピーマンを受け取る来場者



大盛況だった新ひだか町・新冠町の特産品が当たるガラポン抽選会

# JRAからのお知らせ

## 馬産業の人材確保に対するJRAの取組について

平素より中央競馬の事業運営にご理解を賜り誠にありがとうございます。

JRAでは、競馬を取り巻く馬産業の担い手・人材の確保は重要な課題と認識しているところですが、少子高齢化の進展に伴い、近い将来にいよいよ深刻化しかねない状況です。このような背景から、従来の取組みに加えて、馬産業全体における人材確保について他団体とも協力して取組むことを決め、各種施策について検討を行っています。

### 【馬に関わる職業を紹介する取組み】

馬のお仕事紹介サイト（UMAJOB）を立ち上げ、馬産業の職業に興味がある方に、様々な職業を紹介します（9月19日にリニューアルオープン）。また、9月23日（月・祝）に馬事公苑で開催される「愛馬の日」には、馬の職業紹介ブースを出展します。さらに、11月9日（土）10日（日）には、馬産業の職業を紹介する大規模なイベントを新宿で開催します。

### 【馬産業への就労を促進する取組み】

牧場の仕事に興味はあるものの、馬に触れたことがない方を就労に繋げる役割も担う「育成調教技術者養成研修」（公財）軽種馬育成調教センター・BTC）および「生産育成技術者研修」（公社）日本軽種馬協会・JBBA）への支援を実施します。継続的に優秀な人材を集め育成することを目的として、本年募集生（来春研修開始）から両研修における自己負担を約8割削減し、より応募し易い環境の醸成を図ってまいります。

### ■馬のお仕事サイト（UMAJOB）



### ■BTC育成調教技術者養成研修費軽減



### ■JBBA生産育成技術者研修費軽減



ご紹介した取組みは一例です。今後もJRAでは「馬産業全体における人材確保」に継続的に取組んでまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

## マダニについて

浦河診療所 櫻井 健太郎

夏が過ぎ、だんだん秋の気配を感じるようになってきました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。ウマの頸や胸、頭に寄生するマダニを今年は多く見かけたので、今回の記事ではマダニについてお話しさせていただきます。

日本国内のマダニの多くは3宿主性マダニであり、卵→幼ダニ→若ダニ→成ダニという4つの生活史をとります。「3宿主性」というのは、ステージごとに吸血する動物を替えていくという意味です。マダニが生息する条件としては、寄生動物、日陰の場所、および植物の三者の存在が重要な条件であるとされています。本来クマ笹や草むらの中に潜んでいるマダニが野生動物と共に放牧地に侵入し、ウマと接触する機会が増えマダニに寄生されてしまいます。多くのマダニは気候の温暖な春～秋にかけて吸血活動を行うため、その時期に吸血して丸々と太ったマダニを発見することが多くなります。

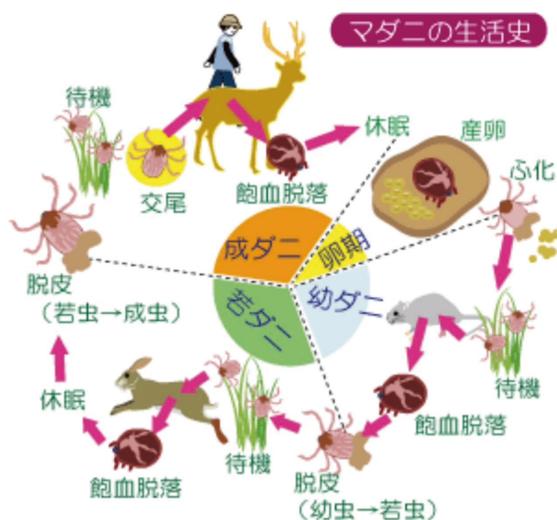
マダニは未吸血の状態ですぐに宿主に付着後、数日間の寄生を行います。吸血し終わったマダニは自然に宿主動物から落下離脱し、次のステージへと脱皮、または産卵をすることになります。マダニが吸血する際には、セメントのようなもので自分の口を固定し、吸血します。マダニの唾液には麻酔物質が含まれており、宿主が噛まれた直後は痛みや痒みを感じないため、マダニは宿主に気づかれず持続的に吸血することができます。

マダニが引き起こす病気としては、吸血したマダニを無理に引っ張って除去することでマダニの口器が折れて皮膚体内に残り、皮膚炎を発症し二次的に細菌感染を引き起こす場合があります。

また、マダニの体内には病原体を保有しておりマダニ媒介性病原体の感染リスクもあります。現在、日本の馬におけるマダニ媒介性疾病の報告は少なく、まだあまり調べられていないのが現状ですが、海外ではライム病やアナプラズマ症といった病気が発生しているため注意は必要です。

マダニを見つけた場合、物理的に除去するのが一般的です。除去する際の注意点は、マダニの腹部を押してマダニの体液成分がウマの体内に逆流しないことと、頭部が皮膚の中に残らないように除去することが大事です。マダニがよく見つかる箇所は頭、耳、頸、たてがみ、尾が多いですが、耳の内側、股、腋窩（わき下）、尾の裏などでもよく見つかります。また、大量に寄生している場合ダニ忌避剤を塗布する方法もありますが、現在日本で製造されている薬剤はウマでの使用報告がないため使用の際は獣医師にご相談ください。

マダニはヒトへも感染する感染症を多く保有しており危険な生き物です。予防にはこまめなマダニの除去が推奨されており、日頃の手入れの際に注意を払ってみてはいかがでしょうか。

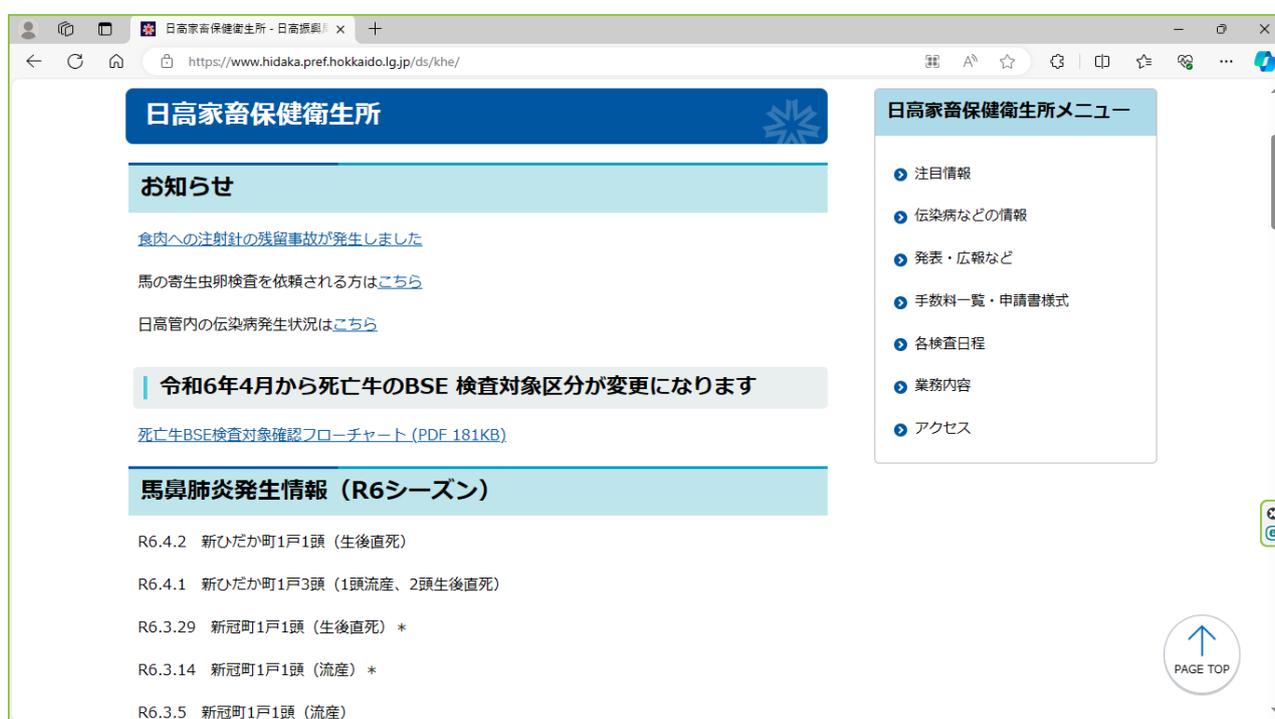


## 馬鼻肺炎による流産発生等の連絡について

日高管内で馬鼻肺炎による流産や生後直死等が発生した場合には、各町の軽種馬生産振興会を通じて、文書で組合員の皆様にお知らせしておりましたが、日高家畜保健衛生所のホームページに発生情報が随時掲載されておりますので、今後はそちらをご参照ください。

日高家畜保健衛生所ホームページ

<https://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/>



**日高家畜保健衛生所**

**お知らせ**

[食肉への注射針の残留事故が発生しました](#)

馬の寄生虫卵検査を依頼される方は[こちら](#)

日高管内の伝染病発生状況は[こちら](#)

**令和6年4月から死亡牛のBSE 検査対象区分が変更になります**

[死亡牛BSE検査対象確認フローチャート \(PDF 181KB\)](#)

**馬鼻肺炎発生情報 (R6シーズン)**

R6.4.2 新ひだか町1戸1頭 (生後直死)

R6.4.1 新ひだか町1戸3頭 (1頭流産、2頭生後直死)

R6.3.29 新冠町1戸1頭 (生後直死) \*

R6.3.14 新冠町1戸1頭 (流産) \*

R6.3.5 新冠町1戸1頭 (流産)

日高家畜保健衛生所メニュー

- 注目情報
- 伝染病などの情報
- 発表・広報など
- 手数料一覧・申請書様式
- 各検査日程
- 業務内容
- アクセス

PAGE TOP

## 家畜共済加入馬(HBA診療分)支払共済金の直接払いについて

HBA獣医師が診療した家畜共済加入馬の支払共済金につきましては、北海道農業共済組合 (NOSAI北海道)からの直接払いに変更となりました。詳細につきましては、お近くのNOSAIまたはHBA本支所へお問い合わせください。